

スコアシート		基本設計段階								
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄			評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.5
Q1 室内環境							0.40		-	3.9
1 音環境						2.0	0.15	3.1	1.00	3.0
1.1 室内騒音レベル			—			3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音						1.0	0.50	3.3	0.50	
1 開口部遮音性能			—			1.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能			住居:Dr-50を目標値に設定			-	-	4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			—			-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			—			-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音			—			-	-	-	-	
2 温熱環境						2.6	0.35	5.0	1.00	4.7
2.1 室温制御			—			3.0	0.50	5.0	1.00	
1 室温			—			3.0	0.63	-	-	
2 外皮性能			住宅部:住宅性能表示制度 断熱性能等級5相当を取得予定			3.0	0.38	5.0	1.00	
3 ゾーン別制御性			—			-	-	-	-	
2.2 湿度制御			—			1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式			—			3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境						2.8	0.25	3.7	1.00	3.6
3.1 昼光利用						3.6	0.30	3.4	0.50	
1 昼光率			共用部:2.2% 住居部:3.3%			4.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口			—			-	-	1.0	0.30	
3 昼光利用設備			—			3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策						2.0	0.30	4.0	0.50	
1 昼光制御			カーテン及びバルコニー庇の組み合わせで制御(住居部分)			2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度			—			3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御			—			3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境						3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策						4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質			F☆☆☆☆の建築材料をほぼ全面的に採用している			4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気						3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量			—			3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能			—			-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮			—			3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理						-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視			—			-	-	-	-	
2 喫煙の制御			—			-	-	-	-	
Q2 サービス性能						—	0.30	-	-	3.4
1 機能性						3.0	0.40	4.2	1.00	4.0
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性			—			-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応			各住戸Gbitクラスのプロードバンドが利用可能			-	-	5.0	1.00	
3 バリアフリー計画			—			3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						3.0	0.30	3.0	0.40	
1 広さ感・景観			—			-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース			—			-	-	-	-	
3 内装計画			—			3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理						3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計			—			3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保			—			3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)			—			3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能			—			3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.6	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数			住宅性能表示制度 劣化対策等級3相当を取得予定			5.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			—			2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			—			3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			—			3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			B以上を使用し、Eは不使用。			5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔			—			3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						2.6	0.20	-	-	
1 空調・換気設備			—			3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備			—			1.0	0.20	-	-	
3 電気設備			—			3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法			—			3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備			—			3.0	0.20	-	-	

3	対応性・更新性			3.0	0.30	3.1	1.00	3.0
	3.1 空間のゆとり			-	-	3.2	0.50	
	1	階高のゆとり	階高2.92mで計画した	-	-	4.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ	—	-	-	2.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり		—	-	-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
	1	空調配管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	—	3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	—	3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保	—	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境（敷地内）				—	0.30	-	-	3.0
1	生物環境の保全と創出		—	3.0	0.30	-	-	3.0
2	まちなみ・景観への配慮		—	3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	—	3.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	—	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-		-	3.3
LR1 エネルギー				—	0.40	-	-	3.9
1	建物外皮の熱負荷抑制		住宅性能表示制度 断熱性能等級5相当を取得予定	4.0	0.20	-	-	4.0
2	自然エネルギー利用		—	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		BEI=0.76	4.4	0.50	-	-	4.4
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
	集合住宅の評価			4.4	1.00	-	-	
4	効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング	—	-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	—	-	-	-	-	
	集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	—	3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制	—	3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル				—	0.30	-	-	2.5
1	水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
	1.1 節水		—	1.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無	—	3.0	1.00	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	—	-	-	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減			2.6	0.60	-	-	2.6
	2.1 材料使用量の削減		—	2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		—	3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		—	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		—	1.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		—	2.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み		躯体+軽鉄+仕上材のデティールを採用している。	4.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			2.6	0.20	-	-	2.6
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		有害物質を含まない壁紙用接着剤等を使用	4.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			2.0	0.70	-	-	
	1	消火剤	—	-	-	-	-	
	2	発泡剤（断熱材等）	—	1.0	0.50	-	-	
	3	冷媒	—	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				—	0.30	-	-	3.3
1	地球温暖化への配慮		CO2排出率=74%	4.0	0.33	-	-	4.0
2	地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1 大気汚染防止		—	3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		—	3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減	—	3.0	0.25	-	-	
	2	污水处理負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	I 1) 駐輪場の台数:住戸の200%を確保。 II 2) 荷捌きスペースを敷地内に確保した。 II 3) 駐車場・駐輪場・歩行者の出入口を各々分離して計画した。	4.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
	1	騒音	—	3.0	1.00	-	-	
	2	振動	—	-	-	-	-	
	3	悪臭	—	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制	—	3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制	—	1.0	-	-	-	
	3	日照障害の抑制	—	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	—	3.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光（グレア）への対策	—	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	2.0	2.0	○	○	-	-	-	-	○	○					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	5.0		-	○	-	○	-	○	-	○	-	-	○	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	5.0		-	-	-	-	○	-	-	○	○	-	○	○	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-								
2.4.2 給排水・衛生設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-							
2.4.5 通信・情報設備	2.0		○	-	○	-	-	-							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	8.0		2.0	-	2.0	-	1.0	-	1.0	-	1.0	1.0	-		
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	-	-	-	-							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0		-	-	-	-	1.0	1.0	-	-					
3.2 敷地内温熱環境の向上	8.0		-	2.0	-	2.0	-	-	-	2.0	2.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-	-					
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-	-								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0		○	-	-	-									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	1.0														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	8.0		1.0	-	-	3.0	1.0	-	-	-	3.0	-			
2.3.3 交通負荷抑制	3.0		1.0	-	-	1.0	1.0	-							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0		1.0	1.0	-	-		1.0	-						
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	2.0		-	2.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC		窓の日射熱取得率(η)			
U値(W/m2K)	窓システム	屋根	外壁	床	
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値 0.6	η AC 2.0	η AH	
昼光率	3.3%				
自然換気有効開口面積率					

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

執務スペース	-	/人	病床	-	/床	シングル	-	ツイン	-
コンセント容量	-	VA/m ²							
天井高	-	m							
リフレッシュスペース	-		レストスペース	-					
想定耐用年数	75	年							
想定必要間隔	-	年							
想定必要間隔	-	年							
想定必要間隔	-	年							
階高	2.92	m							
壁長さ比率	-								
床荷重	-	N/m ²							

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

外構緑化指数	-	建物緑化指数	-				
空地率	-	水平投影面積率	-	地表面対策面積率	-	舗装面積率	-

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

BPI/BPI _m		- 断熱等性能等級		等級5 相当			
自然エネルギー直接利用量		- MJ/年㎡		採光を満たす教室数		- 採光を満たす住戸数	
				通風を満たす教室数		- 通風を満たす住戸数	
				太陽光 .0kW		太陽熱等 .0kW 蓄電池 .0kW	
BEI/BEI _m		再エネ有 - 無 -		オフサイト再エネ有		- -	
一次エネルギー削減率		再エネ有 24% 無 24%				-	

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

雨水利用率	-				
特定調達品目	-	エコマーク商品	-	自治体指定の特定品目等	-
使用比率	-				
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)			
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)			
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)			

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	-	隣棟間隔指標Rw	-						
地表面対策面積率	-	屋根面対策面積率	-	外壁面対策面積率	-				
見付面積Sb	-	卓越風向と直交する最大敷地幅Ws	-	m	基準高さHb	-	m		
緑地	m ²	水面	m ²	保水性対策面	m ²	高反射対策面	m ²	再帰性反射対策面	m ²